

平成26年度 社明大会「ミニ集会」

<ミニ集会 資料>

2015年2月14日
富岡北部町内会

薬物の恐ろしさを知る。

現在我々の年代は薬物乱用等という問題は自分には一生関わりのない事と思って生きてきたでしょう。薬物乱用等は暴力団や一部の集団に関わりのある人たちの問題であって、ごく普通の人たちの問題ではなかったからです。

ですから薬物乱用とは薬物に溺れる事、という言葉を見たり聞いたりしても現実感がうすく問題の深さ重大性がピンとこないに違いありません。

しかし現在の若者、子どもたちにとって薬物乱用は現実的で身近な問題なのです。彼らは薬物の恐ろしさは勿論、それが薬物かどうかさえ知らない場合が少なくありません。また薬物の売買にかかわっている人やルートが増えているため誘惑が多く、身近な知人や先輩から勧められるケースが増大しています。薬物乱用の道に入り込むきっかけはごく小さくても、その害は極めて大きく深刻な結果をもたらします。(裏面参照下さい)

自分を守る勇気を育む

今や彼ら若者・子供たちが何時、薬物乱用に巻き込まれ、その害を受けないとも限りません。このまま無関心で放置しておくとならば薬物乱用は次の世代の人たちの健康や幸福を脅かす重大な問題になります。私たち大人達は今すぐにも立ち上がり彼らを薬物乱用から守らなければなりません。

そのためには、まず我々が現実的な危機感を持ち、次に薬物やその害についての知識をもつこと、そして彼らは何故どのように薬物乱用にのめり込んでいくかを知ることが大切です。彼らだけでなく保護者・家族にもその恐ろしさを伝える必要があります。

誘いを受けた場合、現実はどう対処したらよいか「いらない」「NO」とはっきり自分で自分を守るためにはどんな事が大切かを、考えるきっかけになればと思います。

(MEMO)

富岡北部町内会ミニ集会プログラム
テーマ:くすりの知識(薬物など)

日時 2月14日(土)
午前10時00分~12時00分(予定)

場所 北部町内会館

内容

- 1. 挨拶 保護司 三島真彦さん
保護司 平島喜稔さん

1. 薬物ビデオ鑑賞

薬物体験者たちの証言

- 1. 質疑応答 平島喜稔さん

富岡北部町内会
会長佐藤祥生

